

「1日20分読書」運動

～心に残る1冊の本との出会い～



Q: 本を読むと、どんないいことがあるの？

鹿児島県教育委員会では「第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの発達段階に応じた「1日20分読書」運動を通して、「心に残る1冊の本」と出会えるように読書活動を推進しています。



A: 本との出会いは、心を豊かにするだけでなく、夢や人生の指針を与えてくれるきっかけにもなります。



どんな本を読めばいいの？



※ 鹿児島県立図書館の「こどもの本 - 児童図書モデルリスト -」に掲載されている内容を参考に要約

幼 児	<ul style="list-style-type: none"> 子どものイメージを豊かにさせ、本を手にする喜びや楽しさを味わわせるもの リズム感のある言葉やきれいな絵の本 	※「にじいろのほん」より 
小学校低学年	<ul style="list-style-type: none"> 情景が生き生きと描かれ、心を豊かにさせる本 楽しく分かりやすく本や生活経験に近い内容の本 	中国の民話 [王さまと九人のきょうだい] 君島 久子 訳 赤羽 末吉 絵 岩波書店
小学校中学年	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの立場や生活に即して描かれ、心を豊かにさせる本やいろいろなジャンルの本 	
小学校高学年	<ul style="list-style-type: none"> 知識を広げ、読書の楽しさや文学的な感動を味わうことができ、視野を広げることのできる本 ストーリー性がある本、適度な分量の本 	
中 学 生	<ul style="list-style-type: none"> 文学体験や情報獲得の喜びを味わうことができ、さらに論理的思考を育てる本 	[おおかみと七匹のこやぎ] グリム童話より フェリクス・ホフマン 訳 せた・ていじ やく 福音館書店

鹿児島県立図書館から子ども読書に関する情報

「鹿児島の高校生が薦める本」



県内の高校生が、同年代や中学生に薦めたい本を紹介しています。

「にじいろのほん」



子どもが大人になるまでに読んでもらいたい本を、子どもたちの成長に合わせて、紹介しています。

家庭や学校、地域で目標を決めて「1日20分読書」運動に取り組みましょう。

(例: 「日曜日の夕食後は、家族みんなで必ず読書をする」「様々なジャンルの本を読む」など)

「わたしのめあて:」

子どもの読書活動の推進には、大人のかかわりが大切です！

Q: 子どもに上手に読み聞かせをするにはどうすればよいのでしょうか？

A: 奄美図書館では「お母さんとお父さんのための読み聞かせ教室」を開催しています。県内の公共図書館（室）では、読み聞かせのやり方を学ぶことができる研修会を実施しているところがあるので、参加してみてください。

そのほか、県内各地で多くの親子読書グループが活動しているので、子どもと一緒に参加してみるのもいいですね。

※ 親子読書グループについては、県立図書館もしくは各市町村教育委員会にお問い合わせください。



家族でやってみよう！「読書会」

読書会・・・ 家族で気軽に本の感想を語り合う活動です。事前に読んでおく、その場で同じ本を読む、一冊の本を順番に読むなど、様々な方法があります。



「読書会」で、本の新たな魅力に気付くとともに、読書の楽しみを味わい、家族の会話が増え、ふれあいが深まります。

文部科学省の「子ども読書の情報館」のホームページには、子どもの読書活動に役立つ情報満載！です。家庭での読書活動の参考にしてください。

迷いがちな本選びをサポート ピッタリの本がきっと見つかる

子どもと本を楽しむためのヒントや活動の悩みにアドバイスします

出典：文部科学省「子ども読書の情報館」から抜粋
[\(http://kodomodokusyo.go.jp/\)](http://kodomodokusyo.go.jp/)



スマートフォン等は、
こちらからどうぞ

○ このリーフレットは、**県教育委員会のホームページからダウンロードすることができます。** 鹿児島県 子ども読書 検索

